

コロナに負けず、青空にたなびく西戸山公園のこいのぼり

4月24日から5月8日までの間、区立西戸山公園にこいのぼりが飾られ、地域の方々の憩いの場となっていました。今回で8回目となるこの催しですが、今回の開催にあたっての工夫を百人町三丁目町会の浅井会長にお聞きしました。

これまでの歩み



過去のイベントの様子

このイベントは2013年にスタートし、昨年のコロナ禍での中止を除き毎年実施されています。

昨今では、マンション住まいなどで自宅にこいのぼりを飾ることができない家庭が多いことから、百人町三丁目町会や百三喜楽会が中心となり、地域の子供たちの健やかな成長を願い、地域から寄贈されたこいのぼりを公園で飾る活動をしています。

そして、期間中に近くの幼稚園や保育園の園児も参加するイベント「西戸山公園みんなのこいのぼり」が行われ、毎年300名ほどが参加し、新宿区の防犯マスコットである新宿シンちゃんとの記念撮影を行うほか、地域の高齢者、保護者、園児の三世代が「こいのぼりの歌」を合唱して世代間交流を行っていました。

コロナ禍での実施にあたって



今年のこいのぼり

今年は、コロナ禍が続く中で、多くの催しが中止となった現状から、楽しみにしていた子どもたちや地域の人々のために、何かできないかと、公園での飾りつけだけは行うことになりました。

飾りつけにあたっては、手洗い徹底やマスクの着用を行い、ソーシャルディスタンスに配慮しながら、できるだけ密を避けるように設営を行い、参加者の体調管理も徹底し、作業中に大声を出さないようにする等の工夫も行いました。

当日は町会青年部のメンバー10名を中心に総勢20名で飾り付け、寄贈されたこいのぼりのほか、一昨年に近隣の幼稚園・保育園の園児が作成したこいのぼりも加えた約40匹が春風に吹かれ、たなびきました。

次回実施への想い



百人町三丁目町会 浅井春夫会長

「公園に遊びに来る方や通りすがりの方に楽しんでもらえればと思います、皆で話し合いをして、今回はコロナ禍の中でも出来ることを行いました。

しかし、本当はイベントを実施して、空に浮かぶこいのぼりと参加者の笑顔が見たい。参加者の皆さんと合唱をしたい。

来年こそ、また多くの方が集まることのできるイベントを実施できればと思っています。」